

院内トリアージ実施体制加算について

当院では緊急に治療を要する患者に対して、早期に適切な治療を受けて頂くために、院内トリアージ基準に基づいた対応を行っております。専任スタッフが患者の状態を速やかに評価し、緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行っております。

院内トリアージ実施基準

1. 目的

当院では、患者の症状およびバイタルサイン等から緊急度を評価し、重症患者を優先して診療することを目的として院内トリアージを実施する。

2. 対象患者

時間外、夜間、休日等に受診する患者を対象とする。

以下の症状を有する患者について重点的に緊急度評価を行う。

- ・ 発熱
- ・ 呼吸苦
- ・ 喘鳴
- ・ 意識状態変化
- ・ けいれん
- ・ 嘔吐
- ・ 脱水
- ・ 強い疼痛
- ・ 顔色不良
- ・ 外傷
- ・ アレルギー症状

3. トリアージ目標開始時間

来院後 10 分以内を目標にトリアージを開始する。

ただし、明らかな重症患者については速やかに診察室へ案内する。

4. トリアージ分類

【レベル 1（緊急）】

直ちに診察を要する状態

例：意識障害、チアノーゼ、SpO₂ 低下、重度呼吸困難、持続けいれん、ショック状態、アナフィラキシー疑い

対応：最優先で診察

【レベル 2（準緊急）】

早期診察を要する状態

例：高熱＋ぐったり、中等度脱水、呼吸苦、強い腹痛、持続する嘔吐、顔色不良

対応：優先的に診察

【レベル 3（非緊急）】

待機可能な状態

例：全身状態良好の発熱、軽度感冒症状、軽度皮疹、軽微外傷

対応：通常順で診察

5. トリアージ再評価時間

待機中の患者については必要に応じて状態再評価を行う。

特に以下の場合には再評価を行う。

- ・症状増悪の訴え
- ・長時間待機

- ・呼吸状態変化
- ・顔色不良
- ・嘔吐増加
- ・発熱増悪

目安：

- ・レベル 2：30 分以内ごと
- ・レベル 3：適宜

6. トリアージの流れ

① 来院・受付

↓

② 看護師または医師による初期評価

確認項目：

- ・症状
- ・意識状態
- ・呼吸状態
- ・顔色
- ・体温
- ・SpO₂
- ・必要時脈拍数等

↓

③ 緊急度分類

↓

④ 診療優先順位決定

↓

⑤ 必要時再評価

↓

⑥ 診察

7. 記録

トリアージ実施時には診療録へ以下を記載する。

- ・ 症状
- ・ バイタルサイン
- ・ 緊急度分類
- ・ 優先順位判断
- ・ 再評価内容（必要時）

西大宮にっこりファミリークリニック

2026 年 5 月 8 日作成